

『ココロと身体の間を繋ぐ』

～心理臨床を支える基礎理論～

◆講師：竹内裕司先生

NPO法人日本アーユルヴェーダ協会理事
竹内犬猫病院院長

◆日時：2019年11月16日（土）14時～17時15分

◆場所：チサンマンション第7新大阪 1階貸会議室

大阪市淀川区西中島6-2-3（当会事務所があるビルの1階です）

（地下鉄御堂筋線『西中島南方駅』、阪急京都線『南方駅』徒歩5分、JR『新大阪駅』徒歩10分）

※2単位申請中

哲学的な問題として「心身一元論」と「心身二元論」は大昔から議論され、心と身体の関係が考えられてきました。ところが、医学的にはこれとは別に現在では心と身体の働きは連携するのが当たり前になってきました。そして「病は気から」は各方面から科学的な解明が進み、臨床的にも応用されることも多くなっています。

心理相談員にとっても知っておかなければいけないことも多いのですが、身構えて取り組む必要はなく、ポイントを押さえておくだけでも何かと役に立つ内容ばかりです。ストレスの問題など一昔前と考え方が少し変わったものもありますので、確認する意味でもご聴講頂きたいと思います。

【講師からのメッセージ】

よく言われることですが、何事につけ分かったつもりになっていることと習っていても忘れていくことが非常に多くあります。私自身も反省させられることです。ところで、基礎的なことは何度聞いても新しい発見があります。今回はそのようなことで講義内容を検討しました。

今回はカウンセリングなどには直接関係のないことになるとは思いますが臨床心理学の基礎として生理心理学を中心に上げます。特に何度でも学んで頂きたいストレスのメカニズムとその周辺、免疫のメカニズム、性ホルモンのメカニズムから心と身体をつなぐを考察していきたいです。

さらに心理学の分野では東洋思想が見直されているようなので、今回の内容とリンクするよう心身一如を旨とする東洋医学の解説を加えていきたいです。

～講師プロフィール～

◆竹内 裕司（タケウチ ヒロシ）

NPO法人日本アーユルヴェーダ協会理事、NPO法人日本いきいきらいふ協会副理事長、竹内犬猫病院院長。1986年麻布大学大学院修士課程修了。開業見習時に東洋医学と出会い、1992年にアメリカで獣医鍼灸学、インドでアーユルヴェーダの研修を受け大阪市内で竹内犬猫病院を開業。現在、診療の傍ら講師として活躍している。まだまだガンバります。